

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ほうかごきっず				公表日	令和7年 3月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用状況をみながら、集団活動・グループ活動での設定や、時間帯設定（前半・後半）等工夫を行い取り組んでいる。	継続して、安心・安全な空間や居場所づくり、また共有できるよう環境整備・工夫を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用状況に応じて、適切な職員配置と支援体制を整えている。	今後も引き続き、安全な支援体制を維持しながら、事故防止に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		障害の特性に応じて、一日の流れと活動内容についてカードや写真の提示をすとともに、丁寧な説明を行うことを大事にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		施設内の清掃・消毒、送迎車両の車内消毒等、営業終了後に必ず行い、感染症予防に努めている。	今後も継続して行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動室2部屋と静養室1部屋があり、主に活動室2部屋を活用しながらグループに分かれてそれぞれ過ごし、静養室では学習や読書をしたい子どもたちが活用している。必要に応じて個別対応する場合には、不便なよう環境整備を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・夕礼での一日の予定確認や日々の振り返り会議を行っている。	今後も継続して行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員全体で共有し、改善方法等、検討している。	アンケート集約結果について、職員全体で共有し改善できるよう努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返り会議の中で、意見交換を行い、支援方法や必要な業務改善等、職員全体で話し合い改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修、外部研修など、可能な限り積極的に参加している。	支援の質を高められるよう、今後も積極的に参加していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		支援プログラムについて作成中です。年度内に公表致します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング月以外でも、必要に応じて家族や本人の面談を行い、職員間で共有しながら計画作成を行っている。	今後も引き続き家族の思い・本人の思いを大切にしながら、計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングや家族や本人の聞き取りした内容について、職員全体で共有し支援方法・計画を検討している。	引き続き全体で共有していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童票、受給者証、個別支援計画書等個別ファイルに整理しており、職員全員が把握することができるよう整備している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント内容、様式をわかりやすく作成した。利用時の様子について、振り返り会議録と、ケース記録に記載している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」「移行支援」等個別支援計画書に記載している。それぞれの発達に応じての支援方法についても5領域を踏まえての計画を作成している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の活動内容や土曜日・長期の活動内容について、各担当のプログラム案をもとに、全体で話し合い検討している。	「頭をつかう（考える）活動」「体をつかう（運動）活動」「生活にちなんだ活動」「イベント参加」など、今後も各担当で立案し全体で話し合っ取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		地域イベントや季節にちなんだ活動など、固定化しないよう情報収集を行い、利用状況や感染状況を意識しながら、無理のない範囲でのプログラムを検討している。	子どもたちの発想やリクエスト活動も取り入れながら、固定化しないよう活動内容の工夫を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもたちそれぞれの特性や本人のペースを大切にしながら、個別活動や集団活動の取り組みに参加できるよう検討し取り組んでいる。	保護者・本人の思いや願いを大切にしながら、活動内容の工夫・支援方法等見直していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に、利用児の確認と活動内容や支援方法について話し合い、役割分担の確認を行っている。	今後も継続して打ち合わせを丁寧に行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に必ず振り返り会議を行い、支援の共有を行い記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の振り返り会議で、ケース報告や継続課題について見直しが行えるよう会議録に記載している。	わかりやすく丁寧に記録することを心がけ、日々の支援の改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に、本人や家族の意向を聞き取り、職員間で共有しながら見直しを行っている。	今後も職員間、各関係機関とも情報共有しながら、必要に応じて見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		利用状況や一人一人の課題を踏まえ、生活力、想像力を高められるよう活動内容を検討し支援を行っている。また地域交流の機会がある場合には可能な限り参加している。	今後もそれぞれの成長・発達を見守りながら活動内容を工夫し取り組んでいきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもたちそれぞれの個性が活かせるよう遊びや活動する場面で、子どもたちの発想を大事にしている。	今後も遊びや活動内容を検討するなかで、選択できる機会や場面を設けながら支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本児童発達支援管理責任者が出席している。	今後も積極的に参加し、情報共有を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて各関係機関合同で会議を行っている。参加できない場合は必ず状況報告を行い共有しやすい環境を整えている。	今後も必要に応じて体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間行事や下校時間について、各家庭や学校からのメールやファックスで連絡確認を行い、トラブルのないよう努めている。	今後も事故やトラブルのないよう、家庭・学校と情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談事業所より情報を頂き、関係者含め見学・面談を行い利用調整を伝え相互理解に努めている。	就学前利用の事業所訪問等が行える体制を整えていきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			対象となる児童はいませんが、必要に応じて対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		情報交換や定期的な会議を行い連携できている。	研修など、可能な限り参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館を利用する機会があったが、地域の子どもの交流はなかった。	参加する機会があれば、状況を見て検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の学齢期ワーキンググループに定期的に参加し情報共有を行っている。	今後も継続して参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や自宅へ送った際、子どもさんの様子についてお伝えしたり、必要に応じて電話でのやり取りを行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		積極的に取り組み発信できていない。	積極的に発信していけるよう、情報収集し検討していきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約する際に、説明を行っている。	今後も丁寧な説明を心がけ対応していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事前に、利用するにあたって「家族の思いや願い・本人の思いや願い」についての用紙に記入して頂き、面談の際に再度確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		本人支援についての、取り組み活動の内容・支援の手立てなど丁寧な説明を心がけ、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方から子育てに対する悩みや学校での困りごと等の相談があった場合、事業所で面談できる環境を整え一緒に考えている。面談が無理な場合には電話でのやり取りを行っている。	相談しやすい関係・環境づくりを目指していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は設定できていないが、保護者参加の活動を数日に分けて行い、たくさんのご家族の方が参加して頂くことができた。	今後も家族の方参加型の取り組み内容を検討し発信していければと考えています。また保護者会開催についても検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合の対応について、重要事項説明書に記載と面談時に説明を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の利用申し込み書と、別紙で活動の様子を写真など添付して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に、個人情報使用同意書に同意のサインを頂き、個人情報の取扱いに十分に気を付け管理徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて、視覚的支援（写真・絵カード・予定表等）を用いて文字や言葉と一緒に伝えている。	今後も家庭や学校と連携しながら、不安なく過ごせる環境整備に努めています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人内のイベントへの参加や、地域イベントに参加した際には、地域の方々との触れ合いや、声をかけて頂くなど交流することができた。	慎重に状況判断し、安心して交流できる環境や内容を検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	家族の方への周知徹底はできていない。	契約時や面談の際に丁寧に伝え、周知徹底に努めています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		8月に、地震による避難訓練を法人内の放デイと合同で地震体験と避難訓練を行った。3月に、火災による避難訓練を実施する予定。	今後も定期的な避難訓練、救出訓練なども計画立てて実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		年度切り替え時に、児童票にて医療機関や服薬・てんかんについての情報を頂き、状況把握している。必要に応じて事業所管理を行っているケースもあり、使用はしていない。緊急時の対応について、家庭、学校と放デイ間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象児童については、家庭から情報提供して頂き対応している。	今後も家庭と連携しながら、安全な対応を心がけていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画書を事業所に掲示している。また計画に基づいて研修・訓練を行っている。	今後も安全計画に基づいて、安全管理を十分に実行支援を行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		計画を作成し取り組んでいる。	安全計画について、家族に周知徹底に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハット報告書の提出と職員回覧の徹底を行い、再発防止に努めている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で研修を行っている。また新人職員向けに研修も実施している。	今後も継続して取り組んでいきます。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	対象児はいません。	必要に応じて整備していきます。
----	--	--	---	-----------	-----------------